



第1回町議会定例会が3月4日から開かれ、吉田町長が次のとおり町政執行方針を述べました。

令和6年第1回天塩町議会定例会におきまして、予算をはじめ関連する議案のご審議をいただくにあたり、町政執行に臨む私の所信を申し上げます。

新たな年度を迎えるにあたり、町政を担わせていただいでから早くも1年が経過しようとしています。皆様のご支援とご期待に応えるため、就任直後から、公約実現に向けた体制整備、関係機関との調整や国、北海道への働きかけなど、常に町民の皆様と同じ目線に立ち、着実に歩みを進めてまいりました。

令和6年度は、皆様の思いやご提案に真摯に向き合い、行動し、信頼関係を築きながら共に進む、マチづくりの基本に立ち返ることで新たな視点と発想が生まれます。山積する課題に対して歩みを止めることなく、常に同じ目線と目標をもって、皆様と共にマチづくりを進めていく所存です。

スローガンを「対話・協働・調和」と銘記し、皆様の幸せと笑顔があふれるマチの実現に向けて誠心誠意努力してまいります。主要な施策展開についてご説明申し上げます。

本年度につきましては、産業、生活、協働、行財政を政策の柱として位置づけ、本町の振興・発展に向けた取組みを推進してまいります。

I 希望あふれる 産業のマチへ

① 農林水産の振興

本町の基幹産業である農業につきましては、国及び北海道の農業基盤整備事業による草地改良と経営安定化を図るとともに、粗飼料生産における有害獣被害防止対策の強化や農業研修生の受入、安定的な農業ヘルパーの確保に向けた施策について、天塩町営農担い手協議会をはじめ、各関係機関と連携しながら支援強化を図ります。

今後も、農家の一層の負担軽減に継続して取り組むとともに、経営基盤強化の推進につきましても、国や北海道へ積極的な働きかけを行います。また、本年度につきましては、農用地の効率的な利用に関する目標を定めるため、農業経営基盤強化促進計画を策定します。農家の皆様や農業委員会、関係機関の皆様と、本町の農業の将来像につきまして協議を進めてまいります。

林業につきましては、豊かな森づくり推進事業及び民有林等整備支援事業による民有林造林支援

や、町有林の適切な保育管理に継続して取り組むとともに、森林環境譲与税を活用した子ども達への木育を推進してまいります。森林は、温室効果ガスの吸収源としての機能も有することから、ゼロカーボンシティの実現に向けた一層の林業振興を図ります。

漁業につきましては、パンケ沼底質改善事業を継続し、関係機関と連携した底質環境改善と「シジミ」資源の回復に全力で取り組むとともに、漁業経営の安定化や生産基盤の整備促進につきましても、継続した支援を実施してまいります。また、地域事業者や関係機関との連携を図りながら、漁業資源の付加価値化・販路拡大を促進してまいります。

② 商工観光の振興

商工業につきましては、関係団体への継続した支援や経営基盤強化、創業・事業承継への支援を実施することで、活力ある商工業の育成と振興を図ります。また、市場産品の振興は、ふるさと納税の推進の観点からも相乗効果が期待できる取組みであり、地域事業者

との連携を密にし、新たな商品の開発促進や出店・販路開拓への支援、事業間で連携したプロモーションの実施など、地域経済の好循環と活性化に努めてまいります。

観光につきましては、各種観光資源の保全や観光施設の整備に努め、観光情報発信の充実と観光促進を図るとともに、各種イベント開催に係る支援を継続し、観光協会や地域の皆様と連携しながら、魅力ある観光イベントづくりを推進してまいります。

II 笑顔あふれる 住みよいマチへ

① 医療と福祉の推進

天塩町立国民健康保険病院につきましては、4月より内科医と整形外科医による常勤2名の医療体制が確保されます。町民の皆様が生涯安心して暮らせる地域医療体制の維持・強化につきまして、今後とも全力で取り組む所存です。お年寄りや障害を持つ方への支援につきましては、国の制度に加え、自立した日常生活活動に必要な

な支援の充実に努めるとともに、温泉券とハイヤー券につきましても、活用促進に向けた改善の検討を進めてまいります。また、安定的な福祉サービスを提供するためには、介護人材の確保は喫緊の課題であることから、関係機関と連携した人材確保について検討を進めてまいります。

②子育て・教育環境の充実

子ども達への支援につきましては、子育て支援金制度や予防接種費用の助成、3歳未満児の保育料の無償化や小中学校における学校給食費の無償化、学用品の支給など、子育て世帯の経済的負担の軽減や、アプリケーションを活用した子育て支援サービスを継続してまいります。また、屋外遊具の充実に

実による子ども遊び場、交流の場を整備し、子育て環境の充実を図るとともに、併せて、学校施設の計画的な改修や外部講師による学習・部活動サポートなど、教育環境の一層の充実に努めてまいります。さらに、各種健診の充実やスクールカウンセラー等派遣など、子ども達の心のケアの充実を

図り、子どもの笑顔を育み、心身ともに健やかな発達を支える体制を、福祉・教育・地域の連携のもとに整備してまいります。これら多くの子育て・教育独自支援に加え、結婚新生活や妊産婦支援など、ライフステージに応じた一貫した子ども応援施策を推進してまいります。また、併せて、本町の福祉・教育分野における子育て応援施策を一体的に取りまとめた「子ども子育て応援ガイド」を作成し、子育て世帯の流入増加に向けたPRを広く実施してまいります。

昨年のみちづくり懇談会において、天塩町立啓徳小学校の今後の方向性として、児童数やそれに伴う教職員数が減少することを地域の皆様にお示しさせていただきました。これからの社会を生き抜く子ども達に必要とされる「獲得した知識や情報を活用する力」や「コミュニケーション能力」を育むためには、同学年の集団の中で話し合い、学び合いが必要であることから、身を切る思いではありませんが、令和6年度をもって閉校し、天塩町立天塩小学校への統合を行います。

③マチの強靱化対策

公営住宅をはじめとした道路・橋梁、水道・下水道などのインフラ整備につきましては、各整備計画に基づく計画的な維持・改修に努めるとともに、港湾につきましても、整備促進に向けた働きかけを関係機関と連携して実施してまいります。また、住環境につきましては、住宅リフォーム支援制度

による居住環境の向上支援や、空き家解体補助制度による景観保全や周辺への被害拡大の防止などの対策を図り、安心・安全な居住環境の整備を継続して取り組みます。消防・防災対策につきましても、消防車両や消防資機材の計画的な更新や、地域の防災意識の高揚、関係機関・団体等との連携及び訓練の醸成を図るとともに、重要な情報が迅速に行き渡るよう防

災情報配信システムの更なる普及や活用の推進など、住民生活の安心・安全の確保に向けた一層の体制整備に努めてまいります。

④生涯学習の推進

生涯学習の推進につきましては、関係機関との連携や各種団体

への支援を図り、地域における生涯学習活動を促進させるとともに、芸術・文化や読書にふれあう機会の確保に努め、多様な視点を持ち社会貢献できる未来の人材育成を進めてまいります。また、子どもの英会話スキルアップを推進し、家庭教育の向上と子どもの学びの機会の確保を図ります。

社会教育施設と運動施設につきましては、各個別計画に基づく計画的な維持・補修を図り、各種大会や交流事業での活用など、誰もが主体的に学習・スポーツ活動に親しめる環境整備に努めてまいります。

Ⅲ つながり共に歩む 協働のマチへ

①地域コミュニティの活性化

市街地における人口減少は、地域コミュニティの活力低下につながることから、定住の促進を目的とした町有地の売払いを実施し、地域への人の定着を図ります。また、雄信内地区につきましては、集落地域と行政を繋ぐ核となる人材として集落支援員を設置すると

ともに、雄信内地区のコミュニティ活動の拠点となる複合型施設の整備につきましても、皆様との協議を重ねながら実現に向けた検討を進めてまいります。

②国際交流・多文化共生の推進

本年は、アメリカ合衆国アラソカ州ホームマー市との姉妹都市提携が40周年を迎えます。親善団の訪米・受入や交換留学、文化・スポーツ交流など、地域主体となった長きにわたる相互交流の中で生まれた「つながり」を大切にし、近年は、オンラインミーティングを活用した学校間の交流も行われるようになり、対面交流に限らず、こうしたデジタル技術も活用しながら、国際交流を継続して推進してまいります。また、本町には多くの外国人が多様な産業分野で活躍し、地域で共に生活しております。多文化共生の視点に立ち、マチの一員として地域へ溶け込めるよう、外国人交流事業を充実させ、多文化共生の推進に努めてまいります。

③天塩高等学校の魅力化

天塩高等学校の魅力化に向けた取組みにつきましては、天塩高等学校振興会に対する補助を実施するとともに、公設民営塾による学習支援や、総合的な探究の時間を活用した高大連携事業など天塩高等学校の魅力化に継続した支援を実施してまいります。また、本年2月に、地域社会の発展と町民サービスの更なる向上を目的として、麗澤大学との包括連携協定を締結しました。本協定をもとに一層の人材育成と地域振興を図る思いであり、官・民・学・地域で創りあげたアイデアを「カタチ」にできるよう、天塩高校生や関係機関と協働した取組みを進めてまいります。

⑤要望・誘致活動の推進

本町の一層の振興・発展のためには、町のインフラ整備はもちろん、各種制度の改善・継続など、国や北海道への積極的な要望活動が必要です。近年では、要望事項でありました北海道縦貫自動車道「中川～天塩間」におきまして、計画段階評価を進めるための調査が開始されるなど、今後も、本町のみでは解決が困難な課題に対して、地域の皆様や各種期成会、関係機関と連携した一体的な要望活動を推進してまいります。

④地域おこし協力隊の推進

地域おこし協力隊は、都市部の視点を生かした柔軟な発想と活動により、地域の活気と新たな「つながり」をもたらす人材です。今後、個々のスキルを活かした自由な活動ができる環境づくりに努めるとともに、まちづくりにおける課題を的確に見定め、積極的な

募集活動を実施し、協力隊人材の確保を図り、任期後の活動サポートや起業支援による地域への定着を推進してまいります。

①行財政運営の強化

人口減少社会の中、行政サービスを維持していくためには、今以上に効率的・効果的な事業の実施が必要です。町が実施する事業につきまして、皆様からの意見を取り入れ、客観性及び透明性を確保し、更なる町民サービスの向上を図ることを目的として、新たに行政評価委員会を設置します。

IV 行財政運営が持続できるマチへ

と連携した誘致活動に継続して取り組んでまいります。

②ふるさと納税の推進

ふるさと納税制度は、自主財源の確保はもちろん、地場産業の振

興や地域経済の活性化、ふるさと「天塩町」のイメージアップにおいても極めて効果的な取組みであることから、返礼品の開発促進や地域事業者との連携強化、トップセールスや各種イベント、首都圏出店時におけるプロモーションの実施など、地域事業者の意欲と皆様の知恵をお借りしながら、ふるさと納税の増額を目指した一層の取組みを進めてまいります。また、企業版ふるさと納税につきましても、本町の事業紹介や企業とのマッチングの機会創出を図り、地方創生関連事業の財源確保に向けた取組みを進めてまいります。

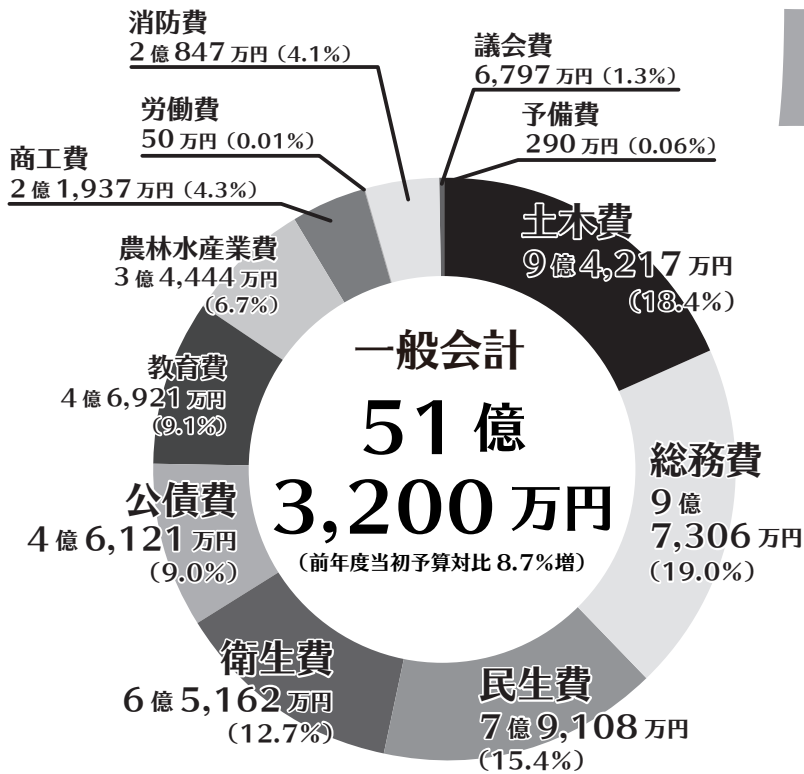
また、休止状態となっておりました安定型産業廃棄物最終処分場につきまして、廃棄物の受入を進めて将来的な廃止を図るための再稼働への方針を決定したところでありますが、目的の達成を実現するために、施設の民間移行も含めた協議を重ね、財政圧迫の要因とならぬよう努めてまいります。

近年猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、社会全体が活発化してきておりますが、コロナ禍がもたらした社会変容は、まちづくりの推進においても大きな影響を与えました。加えて、人口減少・少子高齢化が進行する中で、まちづくりの新たな潮流を的確に捉える力が求められていると感じております。

今後も、常に、町民の皆様と行

政が協働してまちづくりを行うという姿勢を持ち続け、地域一体となって直面する課題に誠心誠意向き合い、マチの将来像の実現に尽力することをお誓い申し上げます。

結びに、町民の皆様をはじめ、議員の皆様のお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



予算総額 **80億 8,864万円**
 (前年度当初予算対比 10.0%増)
 一般会計 **51億 3,200万円**
 (前年度当初予算対比 8.7%増)
 特別会計 **29億 5,664万円**
 (前年度当初予算対比 0.9%増)

《1世帯あたりの予算》	
353万 9,310円	
《1人あたりの予算》	
191万 648円	
※令和6年3月末時点 (1,450世帯・2,686人) で計算	
金額	使いみち
350,077	道路や河川などインフラ整備など (土木費)
194,520	高齢者福祉や児童福祉など (民生費)
174,687	学校・生涯教育やスポーツ振興など (教育費)
242,260	ゴミ処理や予防検診など (衛生費)
209,991	農林漁業・商工業振興や観光イベントなど (農林水産業費・商工費・労働費)
171,171	借入金の返済など (公債費)
362,227	ふるさと応援寄附金返礼や地方創生事業など (総務費)
103,999	その他の経費 (議会費・消防費・予備費)

予算総額は、約 80 億円で前年度と比較して 10.0%の増額となっています。
 一般会計の予算については、前年度と比較して 8.7%の増額となっています。これは主に公共施設の大型改修工事によるものです。
 特別会計の予算については、前年度と比較して 0.9%の増額となっており、こちらは例年とほぼ変わらない予算となっています。

【収 入】

項目	金額	比率	予算上の区分
給料	333万 4千円	65.0%	
基本給	39万 3千円	7.7%	町税
手当	294万 1千円	57.3%	地方交付税、地方消費税交付金など
パート収入	45万 4千円	8.8%	使用料及び手数料、諸収入など
親からの援助	57万 2千円	11.2%	国庫支出金、道支出金
貯金取崩し	35万 9千円	7.0%	繰入金
ローン借入	41万 3千円	8.0%	町債
合計	513万 2千円	100.0%	



【支 出】

項目	金額	比率	予算上の区分
食費	88万 6千円	17.3%	人件費
光熱水費	86万 9千円	16.9%	物件費
医療費・学費	119万 5千円	23.3%	扶助費、補助費等
子どもへの仕送り等	70万 1千円	13.7%	貸付金、繰出金
家のリフォーム	84万 2千円	16.4%	維持補修費、普通・補助建設事業
貯金積立て	17万 6千円	3.4%	積立金、予備費
ローンの返済	46万 3千円	9.0%	公債費
合計	513万 2千円	100.0%	

一般会計の予算額を一般家庭の家計に例えて作成していますが、町の財政と一般会計では内容が異なるため、単純な比較はできませんが、身近な項目に置き換えていただきますので、参考としてご覧ください。
 ※金額は千分の一で算出しています。